

宇都宮市立横川中央小学校
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	年度初め4月に、家庭学習に関する保護者あてに通知をするなど、家庭・保護者と連携をとりながら、家庭学習や自主学習への理解・協力を呼び掛けることで、基礎・基本の着実な定着に向けた指導を随時行っている。	「宿題はきちんとやり、期限までに提出している」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は96.3%であった。「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は81.3%であった。
授業におけるめあてとまとめ・振り返りの充実	授業の最初に本時のめあて、最後にまとめを板書して確認することで、児童一人一人が本時の学習内容振り返り、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組めるようにしている。	「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」に肯定的に回答した児童の割合(6年生)は93.8%であった。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・教科に関する調査からは、国語・社会・算数の平均正答率は、ほぼ市よりも上回る結果となったが、理科の平均正答率活用は下回った。引き続き、各教科・各単元の結末を中心に、学習内容のまとめや復習を繰り返し行うとともに、学期末には複数単元の内容をまとめて復習することで、各単元の内容を確実に身に付け、着実な定着を図ることを目指すとともに、各単元の始めには、今までの学習内容を復習する機会を随時設定することで、さらに着実な定着を図ることができるようにしたい。